

平成 30 年 8 月 23 日 (木)
愛知県環境部自然環境課
野生生物・鳥獣グループ
担当 大橋、石原
内線 3068、3098
ダイヤル 052-954-6230

名古屋港管理組合
港営部港営課
担当 米津、井戸田
ダイヤル 052-654-7872

愛知県内におけるヒアリの確認について

本日午前 9 時に、環境省中部地方環境事務所から、平成 30 年 8 月 21 日 (火) に小牧市大字村中において発見された約 20 個体のアリについて、専門家による同定の結果、8 月 22 日 (水) に特定外来生物であるヒアリ (*Solenopsis invicta*) と確認されたとの連絡がありましたので、お知らせいたします。

また、本日午後 1 時に、環境省中部地方環境事務所から、関連して名古屋港鍋田ふ頭 (弥富市) で発見された約 50 個体のアリについても、専門家による同定の結果、8 月 23 日 (木) にヒアリと確認されたとの連絡がありましたので、併せてお知らせいたします。

当該ヒアリは、中国・南沙港^{なんさ}を出港した貨物船により運ばれ、名古屋港鍋田ふ頭 (弥富市) で陸揚げされ、陸路にて小牧市内の事業者倉庫に運ばれたコンテナ (1 個) 内及び鍋田ふ頭に返却後のコンテナ内とその周辺で発見されたものです。

確認された個体については、すでに全て殺虫処理し、確認地点 (小牧市) 付近、コンテナが留め置かれた地点及び返却された地点 (鍋田ふ頭) 周辺では、事業者や名古屋港管理組合等がベイト剤 (殺虫餌) 等を設置しています。

なお、本県でのヒアリの確認は、昨年 6 月 30 日の初確認以降、9 事例目にあたり、今年度は 3 事例目となります。

1 経緯

- 8 月 10 日 中国広州の南沙 (ナンサ) 港から当該コンテナを積載した貨物船が出港。
- 8 月 18 日 名古屋港鍋田ふ頭 (弥富市) に入港し、翌日 19 日の出港までの間に当該コンテナを陸揚げ。
- 8 月 21 日 鍋田ふ頭から陸路にて、愛知県小牧市大字村中の事業者倉庫に当該コンテナを移動し、事業者が荷出しの際、コンテナの奥に約 20 個体のアリを確認し、殺虫処理。空のコンテナは鍋田ふ頭に返却。
事業者より、愛知県自然環境課に通報。愛知県より環境省中部地方環境事務所に連絡。

事業者は愛知県の指示により、事業者倉庫内及びその周辺にベイト剤及び粘着トラップを設置。

環境省中部地方環境事務所が入手したアリを詳細に確認した結果、ヒアリである可能性が高かったため、専門家に同定のためサンプルを送付。

- 8月22日 鍋田ふ頭の当該コンテナ内及びその周辺を環境省中部地方環境事務所、愛知県、名古屋港管理組合が目視調査したところ、コンテナ内及びコンテナ周辺より、約50個体のアリを確認。生きているアリは直ちに殺虫処理。事業者と管理組合が当該コンテナを密封し、燻蒸消毒を実施するとともに、コンテナ周辺に殺虫餌（ベイト剤）及び粘着トラップを設置。専門家が、8月21日に発見されたアリがヒアリであることを確認。
- 8月23日 専門家が、8月22日に発見されたアリがヒアリであることを確認。

2 今回確認されたヒアリについて

事業者倉庫で確認されたアリは、ヒアリの働きアリ約20個体で、鍋田ふ頭で確認されたアリは、ヒアリの働きアリが約50個体です。

愛知県小牧市内及び名古屋港鍋田ふ頭で発見されたヒアリは、直後の対応の結果、確認された全ての個体が殺虫処理されました。また、ヒアリが確認されたコンテナは薬剤による燻蒸消毒を実施しました。現在、ヒアリ確認地点、当該コンテナ周辺で、ベイト剤及び粘着トラップを設置し継続調査を実施しています。さらに、コンテナが陸揚げ時に一時的に留め置かれた地点（鍋田ふ頭）の周辺において、名古屋港管理組合がベイト剤の設置と目視調査を実施した結果、新たなヒアリは確認されていません。

環境省は、ヒアリ発見地点周辺等に定着・繁殖している可能性は低いと考えています。

3 今後の対応

- 環境省中部地方環境事務所は、事業者、名古屋港管理組合、小牧市及び弥富市の協力を得て、ヒアリ確認地点、コンテナ周辺、コンテナが一時的に留め置かれた地点において、ベイト剤及び粘着トラップによる継続調査を実施します。
- 県は、今年度は3事例目のヒアリが確認されたことを踏まえ、改めて運送事業者等への注意喚起文書を本日発出します。
- また、引き続き、以下の対応を行っていきます。
 - ・ 県と名古屋港管理組合は、環境省中部地方環境事務所、弥富市、飛島村と連携を図り、ヒアリの侵入の水際での防除に万全を期していきます。
 - ・ 県ではWebページによりヒアリに係る注意喚起を行うとともに、県民の皆さまからの問合せ窓口を設け、情報収集を行います。
 - ・ 名古屋港管理組合は、名古屋港のコンテナターミナル等の調査を行うとともに、港湾関係者への注意喚起等を行います。

4 県民の皆様へ

(1) 注意点について

ヒアリは強い毒を持つため、生きた個体を素手で触らないようにしてください。

- ・ ヒア리를刺激すると刺される場合があります。
- ・ ヒアリが生息している可能性があるような場所（緑地帯の土や芝生の土等）には安易に手をいれないようにしてください。
- ・ ヒアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（ア리를踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。

(2) 刺されたときの対応について

- ・まずは安静（20～30分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください。
- ・受診の際は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応であること）の可能性があること」を伝えてください。

(3) ヒアリと疑わしいアリを見つけた場合

発見日時、発見者、発見場所及び発見時の状況について、下記問合せ窓口ご連絡してください。その際に、できる限り個体の画像を提供願います。

〈問合せ窓口〉

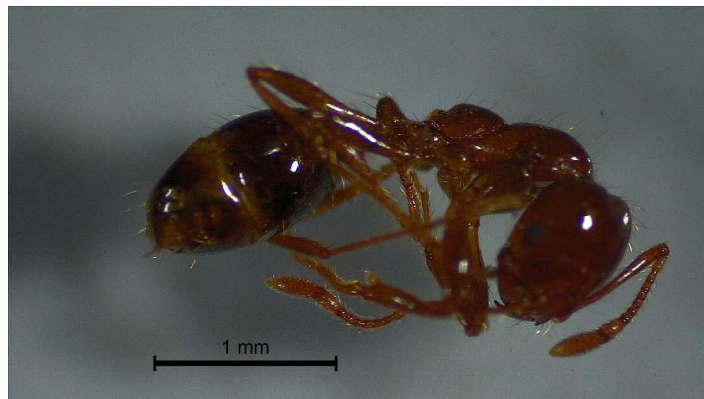
愛知県環境部自然環境課野生生物・鳥獣グループ

電話番号 052-954-6230 (ダイヤル) 平日：午前8時45分から午後5時30分まで
052-961-2111 (代表) 土曜日・日曜日及び祝日

FAX 052-963-3526

E-mail shizen@pref.aichi.lg.jp

【写真】今回発見されたヒアリ



撮影：環境省

【地図】今回ヒアリが発見された場所



小牧市



鍋田ふ頭

【参 考】

本県でのこれまでのヒアリの確認状況

1 平成30年度

番号	確認地点	確認日	確認状況	発見数	積出港
1	飛島村 (名古屋港)	7月5日	コンテナ内等	約20個体	あもい 廈門港 (中国)
2	瀬戸市	7月20日	コンテナ内	約350個体 (女王アリ、 さなぎ含む)	こうほ 黄埔港 (中国)
3	小牧市	8月22日	コンテナ内	約20個体	南沙港 (中国)
	弥富市 (名古屋港)	8月23日	コンテナ内等	約50個体	

2 平成29年度

番号	確認地点	確認日	確認状況	発見数	積出港
1	弥富市 (名古屋港)	6月30日	コンテナ外部	7個体	南沙港 (中国)
2	春日井市	7月10日	倉庫内	6個体	南沙港 (中国)
	飛島村 (名古屋港)	7月12日	コンテナ内	11個体	
3	弥富市 (名古屋港)	8月4日	コンテナ内	約100個体	あもい 廈門港 (中国)
4	名古屋市港区 (名古屋港)	9月1日	コンテナ内	約1,000個体 (女王1個体)	天津港 (中国)
5	弥富市 (名古屋港)	10月3日	コンテナターミナル	2個体	不明
6	弥富市 (名古屋港)	11月7日	コンテナ内	7個体	中山港 (中国)